

KOBAI ART AWARD

第7回



ごあいさつ

明治・大正期の熊本では、他の地域に先駆けて、教育や文学、社会活動での女性の活躍が目立ち、「肥後の猛婦」と呼ばれるほど、その情熱は高く評価され、時代が変わってもそれは受け継がれています。

そういったことを受けて、創業60周年を迎えた2009年秋、熊本を拠点に「くつろぎのごちそう」を提供する当社は、企業メセナの一環として、熊本出身及び在住の優れた創作活動を続ける女性芸術家を支援しようと芸術賞を創設しました。

長年にわたり活動が続いている女性芸術家に対して「香梅アートアワード」(賞金50万)を、そしてこれからの活躍が期待される若手芸術家に「香梅アートアワード奨励賞」(賞金10万)を授与しています。

受賞者は、毎年9月に選出され10月に贈賞式を実施。そして、受賞者の作品は、翌年の春、2か月間にわたって4か所の当社「ドウ・アート・スペース」で巡回展示を行っています。

私は、日頃からお菓子は芸術だと思っています。このお菓子と芸術の発表の場として、熊本市・菊池市・人吉市などに「ドウ・アート・スペース」を併設し、ギャラリーとして一般に無料開放しています。様々な芸術活動を続けておられるアーティストの皆さんが「ドウ・アート・スペース」を利用しておられます。年々利用が多くなり、喜ばしいことです。

これからも熊本ゆかりの女性の活躍を応援し、地域の発展に少しでもお手伝いできたらと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

【選考委員】

岡部あおみ Aomi Okabe

美術評論家

元武蔵野美術大学芸術文化学科学科教授

南寫宏 Hiroshi Kinamishima

女子美術大学芸術学部教授

前熊本市現代美術館長

副島隆 Takashi Soejima

お菓子の香梅代表取締役会長

公益財団法人

熊本市美術文化振興財団評議員

熊本広告協会会長

熊本アイランド協会会長

九州トルコ協会会長

熊本県立美術館協議会委員

副島隆

KOBAI ART AWARD



香梅アートアワード 伴 征子

KOBAI ART AWARD

ばん せいこ
プロフィール

1944年熊本生まれ。熊本在住。
8歳のとき熊本バレエ研究所の前身である三橋蓮子舞踊研究所に入門。1968年、恩師戸田裕子
女史のあとを継ぎ、熊本バレエ研究所の三代目代表となる。【受賞】1976年熊本県文化懇話会新
人賞、1993年くまもと県民文化賞、2010年熊本県文化懇話会賞、交友社賞、2011年第52回
熊本県芸術文化祭奨励賞

バレエは好奇心旺盛な 私の性格にピッタリ

副島 伴さんがバレエを始めたのはいつ頃
ですか。

伴 もともと母がバレエに興味があったの
で、小学2年生からお稽古に通うようになっ
たんです。私は小さい頃から好奇心旺盛で、
お調子者だったんですが、バレエには宿題も
ないでしょう。上手に踊ると喜んでもらえ
たから、私の性格にピッタリだったんです。

副島 子どもの頃から、ずっとバレエ一筋
だったのですか？

伴 九州女学院に入学したら、ラッキーなこ
とに「美術」が浜田知明先生(版画家)でした。
授業がとても楽しかったので、高校でも「美
術コース」を選び、美術大学を目指した
がダメ。結果的には熊本商大の経済学部
に進学したんですけど、ずっとバレエは続け
ながら、学生生活を満喫しました。



「くるみ割り人形」公演 2014年 熊本県立劇場

伴 熊本バレエ研究所25周年のとき、これま
での発表会とは別に「公演」にこだわりました。
「いい舞台はお客様を育て、いい踊り手はお
客様が育てる」と、いろんなシーンで実感し
たんです。我がダンサーは、年若く、技量も
これからという状態ではありますが、皆さん
に、バレリーナのひよこの誕生にお立会い
いただきたい、というあつかましいことを思い
いただきました。曲目は、子どもから大人まで
色んな配役がある「くるみ割り人形」がいいな
と。そう考え始めたら、実現するために必死
に動き回るので、私の迫力に押され、多くの

熊本で世界に通用する ダンサーを育てる！

副島 最終的にバレエの指導者になること
を決意したのは。

伴 大学を出た23歳から、前任の戸田裕子
先生のとをつぎ、熊本バレエ研究所の専任
教師になったんですが、その頃は、ヨーロッ
パはいいなあ、東京はいいなあ、いつも羨ん
でいました。そんなとき「バレリーナにな
りたい」と真剣な眼差しで打ち明けてくれた子
がいて、その一言にスイッチが入り、「こんな
ことを言っている場合ではない！ここ熊本
で世界に通用するダンサーを育てるのだ」と
決めました。

副島 「くるみ割り人形」全幕をやるうと思っ
たのは。

いった一流の人たちの力をいただき、若いダ
ンサーが育ち、今ではそれらがしつくりと馴
染んできています。



緒方規矩子氏によるデザイン画
「くるみ割り人形」衣装

子どもの湧き上がる エネルギーを大切に

副島 子どもたちを指導する上で、大切にし
ていることは。

伴 子どもたちは、跳んだり、回ったり、動き
回ることの天才でしょ。そんな風に、子ども
特有の湧き上がってくるエネルギーを消さ
ないようにすることかな。バレエの基本は
厳格で、美を表現するのに不可欠なもの、そ
の兼ね合いが苦心するところですが、大きな
喜びです。

※浜田知明・第二次大戦後の日本を代表する版画家
の一人



副島 隆

副島 ここまで続けてくる上での苦勞など
があったら、教えてください。
伴 舞台が終わると、すぐ次の目標ができる
ので、やりたいことが止まらない。だから、
苦勞とか感じる暇がないんです。30年前、
活動にシンボリックなものを求め、舞台装置
を妹尾河童さん、衣装を緒方規矩子さんと



スプリングバレエコンサート
Celebration「眠れる森の美女」よせて 2015年

香梅アートアワード奨励賞

宮本華子

KOBAI ART AWARD



みやもとはなこ
プロフィール

1987年熊本県生まれ。熊本県荒尾市在住。
2012年女子美術大学院美術研究科修士課程修了。2012年個展「さよなら、愛しい」、2013年個展「よくぼうぼう展-ものさし失くした-」、2014年個展「終わりは、始まり。」(熊本・崇城大学ギャラリー)。2015年アーティスト・インデックス Scene3 (熊本市現代美術館・ギャラリーIII)。2015年市民アートパレード三猪末雄賞受賞。

「絵が好き」そこから 自然と美術の世界へ

副島 宮本さんが、美術の道に進もうと思っ
たきっかけは。

宮本 母も芸大を目指して、絵を描いていま
した。結婚してからは止めてしまったので
すが、物置には、当時のキャンパスがあつて、
子ども心に「なんてキレイなものが世の中
にあるんだろう」と思っていました。その頃か
ら絵が好きで、母に見てほしくて描いてい
るルーテル学院高校で美術を学び、そのまま美
術大学を目指しました。

副島 大学ではどのようなことを学ばれた
のですか。

宮本 専攻は油絵でしたが、それ以外の作品
にも多く取り組みました。例えば、今も続け
ている「ジャグホースの旅」シリーズは大学



ジャグホースの旅(上海)
2013年

時代から始めています。旅をしながら知ら
ない人に声をかけ、蛇口とホースを持った
写真を撮らせて貰うんですが、そのおかげで
色々な国でたくさんの方に出会えました。
最近では、更に発展させて、出会った人より
関わるために、自宅にお伺いして、その家の
蛇口に繋がせてもらったりもしています。

副島 他にはどんなモチーフの作品に取り
組んでいらっしゃいますか。

宮本 父が工場で働いていたので、小さい頃
は、兄とよくそこで遊んでいました。その時
の経験は鮮明に覚えています。そこで目に
した鉄工所の壁の色や、成分は危ないけれど



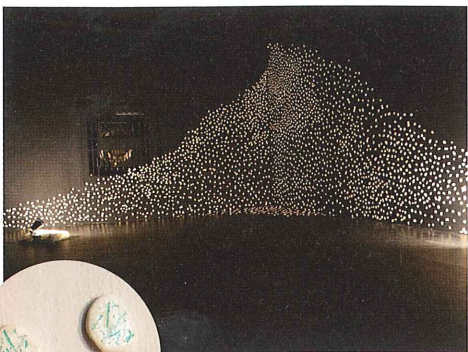
贈賞式ではお菓子のトロフィーが贈られた

見た目が綺麗な素材等は忘れられません。
また、祖母の家のお風呂場のタイル、飼
犬の小屋など私以外の人にも、どこか見覚え
のある懐かしいと感じられるモチーフの作
品に取り組んでいます。

他人とギャップを感じる 「幸せのカタチ」

副島 どのようなアーティストに影響を受
けましたか。

宮本 高校時代に熊本市現代美術館がで



MOUNTAIN - a mountain of asbestos
2013年



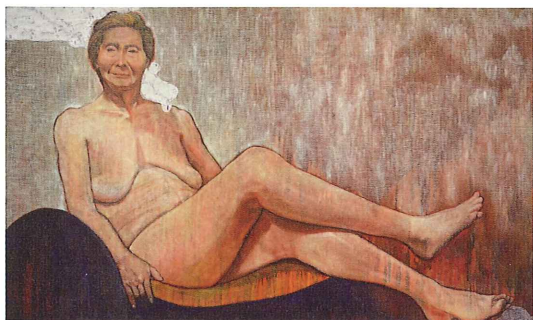
世界的な現代作家のマリーナ・アブラモ
ヴィッチの作品を生で体験できたことはス
ゴイ経験でした。それと日本人だと鴨居玲
の作品に影響を強く受けています。それから
アーティストではありませんが、作品を制作
する上で、父との関係性は大きく影響してい
ます。父が感じる幸せ、すなわち、人から見
た幸せのカタチと、私が感じる幸せのギャッ
プというか、違和感が、表現の起点になっ
ているような気がします。やはり自分の感情
とどう向き合うか、ということは大切なこと
ですよ。

副島 最近では、おばあさまのヌード作品も描
いていらっしゃいますね。

宮本 祖母は92歳になるんですが、前から
ヌードは描きたいと思っていました。3年
前、お風呂上りのところを描写したんですが、



肖像画を装った自画像 2015年



She is beautiful. She is not hole. 2014年

当時は、肌艶、肉付きがよかったですよね。
油絵は、大学3年の頃から描かなくなってい
たのですが、熊本に戻ってから描きたい対象
が出来て、再開することができました。

副島 今後、どのようなことをやってみたい
ですか。

宮本 そう遠くないうちに、活動の場を海外
に広げたいと思っています。迷うこともある
かもしれませんが「バカを全力でやる」という
姿勢をこれからも大切にしていきたいです。

KOBAI ART AWARD

【第7回】
香梅アートアワード
巡回展スケジュール
2016

くつろぎのごちそう
お菓子の香梅
http://www.kobai.jp/

これまでの 贈賞者

- 《第1回》香梅アートアワード 奨励賞
香梅アートアワード奨励賞
瀧田安子 (画家) 今田淳子 (造形作家)
- 《第2回》香梅アートアワード 奨励賞
香梅アートアワード奨励賞
高津明美 (染色工芸家) 小林まみ (画家)
- 《第3回》香梅アートアワード 奨励賞
香梅アートアワード奨励賞
島田清美 (キルト作家) 蔵野由紀子 (画家)
- 《第4回》香梅アートアワード 奨励賞
香梅アートアワード奨励賞
真珠子 (美術家) 坂本夏子 (画家)
- 《第5回》香梅アートアワード 奨励賞
香梅アートアワード奨励賞
播正ますみ (人形作家) 島内美佳 (画家)
- 《第6回》香梅アートアワード 奨励賞
香梅アートアワード奨励賞
田島涼子 (箏曲教授) 門田奈々 (画家・デザイナー)

帯山店

DO ART SPACE OBIYAMA

3月12日(土) … 3月24日(日)



〒862-0924
熊本市中央区帯山7-6-84 (国道道路沿い)
TEL 096-381-8681
営業時間 / 9:00 - 20:00

人吉店

DO ART SPACE HITOYOSHI

3月26日(土) … 4月7日(日)



〒868-0035 人吉市五日町47-1
TEL 0966-26-3330
営業時間 / 9:00 - 20:00

菊池店

DO ART SPACE KIKUCHI

4月9日(土) … 4月21日(日)



〒861-1331 菊池市隈府1102-4
TEL 0968-26-5600
営業時間 / 9:00 - 20:00

光の森店

DO ART SPACE HIKARINOMORI

4月23日(土) … 5月14日(日)



〒869-1108
熊本県菊池郡菊陽町光の森5-23-11
TEL 096-233-5081
営業時間 / 9:00 - 20:00

香梅アートアワード贈賞者

伴征子氏は熊本をバレエ芸術の都とするために、60余年にわたり、その命のすべてをバレエに捧げてきました。彼女が主宰し、築き上げた熊本バレエ研究所の「くるみ割り人形」は、いまや全国に知られる、熊本の冬を暖かく彩る風物詩となり、またその研究所での厳しく、そして愛ある指導によって、広く国内外で活躍する多くのダンサーを育て上げるというように、バレエを通しての人間教育においても、高い業績を積み上げてきました。よって、ここに「香梅アートアワード」を授与し、その功績を讃えるものです。



熊本バレエ劇場40年記念「眠れる森の美女」公演
中国・上海市舞蹈学校を迎えて 2015年



しろが消えていく。 2014年

宮本華子氏は女子美術大学時代からその優れた才能を発揮し、高い評価を獲得してきました。帰郷後の熊本にあっても、精力的な活動を展開し、その成果は世界に通用する質の高さを示すものとして、注目を集めています。「父性」をキーワードとし、国家、家族、制度など、個人的な記憶を起点に普遍的な表現へと向かうその姿勢は、広い世界におけるさらなる飛躍を約束するものであり、ここに今後の活躍の期待を込め、「香梅アートアワード奨励賞」を授与するものです。

宮本華子
Hanako Miyamoto

伴征子
Seiko Ban

香梅アートアワード

香梅アートアワード奨励賞